

平成23年行政事業レビューシート (農林水産省)							
事業名	国際機関を通じた農林水産業協力拠出金		担当部局庁	大臣官房国際部		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	昭和48年度～		担当課室	国際協力課		課長 瀬戸 宣久	
会計区分	一般会計		施策名	④総合的な食料安全保障の確立			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	ODA大綱(H15.8) 食料・農業・農村基本計画(H22.3) 森林・林業基本計画(H18.9) 水産基本計画(H19.3)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国連食糧農業機関(FAO)等農林水産分野の国際機関と協力し、アフリカ等開発途上国における飢餓や貧困の削減、気候変動対策や越境性感染症対策等地球的規模の課題への対応、水産資源の適正な管理や持続的利用の確保等を推進し、「人間の安全保障」の確保を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	農林水産分野の国際機関への拠出を通じて、以下の取組を実施。 ① アフリカの玉米増産等途上国の農林水産業や農村開発の支援、 ② アジア等における鳥インフルエンザや口蹄疫等越境性感染症対策の支援、 ③ 東アジア等の森林保全や持続可能な森林経営の推進、 ④ 水産資源の持続的利用や資源管理の取組の推進 等。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
		補正予算	0	0	0	0	
		繰越し等	0	0	0	0	
		計	2,084	2,288	2,141	1,951	
	執行額	2,084	2,288	2,141			
	執行率(%)	100	100	100			
成果指標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	本事業については、定量的な数値目標を設定することは困難であったため、世界の食料安全保障の確保や、気候変動等地球的規模の課題への対応等への貢献といった定性的な成果目標を設定し実施してきたが、22年度の行政事業レビューの指摘を踏まえ、23年度予算要求案件について各事業ごとに成果を図るための数値目標を設定。		成果実績	-	-	-	-
			達成度	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	FAO等20の国際機関が実施する47事業に対し拠出金事業を実施。主な事業の活動指標として、 ①日アセアンパートナーシップ強化事業 アセアン地域における農林水産業の健全な発展に寄与するための研修人数 ②アフリカにおける稲作等普及事業 アフリカにおける水田整備面積等を設定。		活動実績 ① (当初見込み)	269	226	P	-
			※当該機関では年度の開始月が10月で予算を組んでいるため、10月～翌年9月の実績で整理			(250)	(-)
			活動実績 ② (当初見込み)	236	580	285	P
		※当該機関では暦年で予算を組んでいるため、暦年実績で整理	ha			(250)	(285)
単位当たりコスト	59,203(円/10a)		算出根拠	単位当たりコスト=水田整備に係る拠出額168,729,000[円] /水田整備面積2,850[10a]			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	任意拠出金	1,951	1,756	これまでの実績や国際的な議論等を踏まえ、より効率的・効果的な国際協力を行うべく事業内容を精査し、事業規模等の見直しを行ったため。			
	計	1,951	1,756				

事業所管部局による点検		
評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○ 広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○ 国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－ 不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○ 支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○ 単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○ 受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－ 資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○ 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○ 他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	本事業については、定量的な数値目標を設定することは困難であったため、世界の食料安全保障の確保や、気候変動等地球的規模の課題への対応等への貢献といった定性的な成果目標を設定し実施してきたが、22年度の行政事業レビューの指摘を踏まえ、23年度予算要求案件について各事業ごとに成果を図るための数値目標を設定。今後、その達成を評価していくこととしている。
	△ 適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○ 活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○ 類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○ 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<ul style="list-style-type: none"> ・国際機関から毎年提出される実績報告書や国際機関との年次協議等を通じて、当該機関の事業進捗状況等を確認しつつ、予算の支出先や使途を確認。 ・平成23年度予算については対前年度比8.9%減と大幅に縮減。 ・事業完了時に提出される最終報告書等により事業成果等を確認。 ・平成22年度に、23年度予算要求案件について各事業ごとに成果を図るための数値目標を設定した。今後、その達成を評価していくこととしている。 (数値目標の例：平成25年度の事業終了後1年間のアジア諸国における高病原性鳥インフルエンザの発生報告数を平成18～20年度の平均値339件の半分に減少)	
予算監視・効率化チームの所見		
抜本的改善	本事業は、日本に対するメリット、寄与度を明確に示すこと、拠出金の位置付けの明確化を行い必要性について再検討すべきであることから、「目標設定と成果測定の実施」を行うべきであり、本事業としては「抜本的改善」とする。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)		
昨年の行政事業レビューにおいて同様の指摘を受け、平成23年度予算要求から成果を図るための数値目標を設定しており、平成24年度予算要求においても数値目標を設定し、その達成を評価していくこととしている。		
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)		

農林水産省
2,141百万円



【拠出】

A.国際機関(20機関)
2,141百万円

食料農業分野等の国際的な規範策定等と一体的に行う能力構築、システム開発、情報整備等を実施

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)(単
位:百万円)

支出先上位10者リスト

A.国際機関

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国際連合食糧農業機関	世界の食料安全保障に関する国際的検討の場の提供や政策的助言等	541	—	—
2	アセアン事務局	アセアン組織の効率的な調整、様々なアセアンの活動や事業のより効果的な実施	371	—	—
3	東南アジア漁業開発センター	東南アジアにおける漁業開発促進のための技術開発、調査、能力開発支援	200	—	—
4	国連世界食糧計画	途上国、難民等への食料支援活動の実施	169	—	—
5	国際獣疫事務局	動物衛生に関する基準等の策定、情報の収集・分析・提供、技術的支援・助言等	155	—	—
6	国際熱帯木材機関	熱帯木材の貿易と有効利用及び熱帯林の持続可能な経営に関する活動	145	—	—
7	国際協同組合同盟	協同組合の価値・原則の普及、国際協力の促進、世界平和への貢献を目的に活動	85	—	—
8	経済協力開発機構	加盟国間での自由な討議や情報交換を通じ、世界の経済成長、開発、貿易に貢献	78	—	—
9	アフリカ稲センター	アフリカに適した稲作に関わる研究開発及び普及活動	62	—	—
10	国際半乾燥熱帯作物研究所	熱帯半乾燥地域を対象に低所得者の栄養及び福祉の向上を目的とした研究を実施	47	—	—